

【令和8年度 国立西洋美術館インターンシップ募集のお知らせ】

国立西洋美術館では、実務研修を実施し当館の教育機能を発揮することで、西洋美術に関心を持つ人材の専門的知識及び技術の向上を図ることをもって、社会貢献に寄与するとともに、西洋美術に興味関心を持つ人々の視野を広げることを目的として、インターン(研修生)を募集します。当館職員の指導のもと、研修生は所蔵作品の調査を行うなど、当館の様々な業務に実際に携わることになります。

については、国立西洋美術館で研修を受けることを希望する方は、以下の募集内容を熟読の上、専門分野、年齢及び経歴など各受入分野の応募条件に従い、応募書類を当館までお送りください。

【1】募集分野と主な研修内容

A 西洋美術史

- a) 当館所蔵作品(絵画・彫刻、版画・素描等)の来歴・展覧会歴調査、美術史的研究及び絵画・彫刻室、版画・素描室、装飾デザイン室、管理調整室に関連する業務の補佐。
- b) 当館で実施予定の特別展、小企画展の準備、カタログ編集業務などの補佐。

B 教育普及

教育普及プログラムの企画・準備・実施業務の補助、及び資料整理。

C 情報資料

研究資料センターにおける資料収集・整理及び利用者サービスの補佐。当館所蔵作品に関連するドキュメンテーション作業補佐。

D 保存修復・保存科学

保存修復室・保存科学室に関連する業務全般の補佐。

(①当館所蔵作品の保存管理や保存修復関連作業の補佐、②作品の엑스線透過画像や赤外線反射画像の撮影ほか各種科学調査・環境制御(温湿度、紫外線、照度測定など)・総合的有害生物管理業務の補佐。)

- * 志望分野はA~D(Aについてはa、b)から一つに絞ること。ただしAについては、本人の専門や希望をある程度尊重しつつも、a、b)両分野全般に携わっていただきます。

【2】受入人数

各分野1名から数名程度。

【3】研修期間等

2026年6月から12月までの間で原則として3ヵ月以上、6ヵ月以内とします(93時間以上、おおむね週1回。)

個々の研修内容によって、研修期間・研修日数などは異なります。

所定の研修時間(93時間以上)を修了し、館長が認めた者には、修了証書を交付します。

【4】受入条件

- 1 当館から研修生に対して研修費は徴収しません。
- 2 資料購入費、交通費等の研修期間中に必要な経費は、研修生の負担となります。
- 3 研修期間中は、当館の負担により、災害傷害等保険に加入するものとします。

【5】応募条件

1 大学院生若しくはそれと同等程度の学力を有すること(大学学部生は不可)。将来美術館の研究職員等として勤務を希望する者を対象とし、年齢は原則として23歳から30歳までとします。

2 応募分野について明確なテーマを持ち、次の知識を有すること。

A 西洋美術史

西洋美術史に関する高度の知識(大学院修士課程で西洋美術史を専攻しているか、又は、それと同程度以上の学力があること。)があり、英語以外に独、仏、伊、ラテン語など専門分野に関連する語学に関して高度の力があること。

研修内容b)を希望する者については、次のいずれかに当てはまることが望ましい。

- ・19世紀イギリス美術に関心を持ち、英語の十分な知識、能力を有する者
- ・19-20世紀フランス美術に関心を持ち、フランス語の十分な知識、能力を有する者
- ・近代彫刻に関心を持ち、英語あるいはフランス語の十分な知識、能力を有する者

B 教育普及

大学又は大学院で西洋美術史を学び、教育普及に関心がある者。あるいは大学若しくは大学院で美術教育を学び、西洋美術に関心のある者。又は、これと同等の能力と関心のある者で、一定以上の英語力のある者。プログラム実践に関わるにあたり、参加者やスタッフとのコミュニケーションに抵抗がなく、毎週金曜日(終日)に活動できる者(主に毎週金曜日に研修を行う。教育普及プログラム実施の際は土・日・祝日も含む。)

C 情報資料

大学院修士課程で西洋美術史を専攻し、アート・ドキュメンテーション分野に関心があること。又は司書有資格者か、これと同等の能力のある者で美術図書館の活動に関心があり、洋書整理に必要な程度の語学力のある者。

D 保存修復・保存科学

大学院修士課程で文化財(西洋絵画または西洋彫刻作品)の保存修復または保存科学を専攻し、保存修復・保存管理専門家として美術館で働くことに関心のある者。実践的な作業を行うにあたり健康面に支障がなく、毎週月曜日に活動できる者(主に毎週月曜日に作業。作業によっては他曜日も含む)。学芸員資格を有していることが望ましい。

【6】応募方法等

1 応募書類

① 選考申込書(別紙様式)

② 小論文

A 西洋美術史

応募の動機と目的を簡潔に述べること(2,000字程度、A4版用紙、1枚程度で提出)。

B 教育普及

応募の動機と目的を簡潔に述べること(1,600字程度、A4版用紙、1枚程度で提出)。

C 情報資料

応募の動機と目的を簡潔に述べること(2,000字程度、A4版用紙、1枚程度で提出)。

D 保存修復・保存科学

応募の動機と目的、インターン期間内の目標について簡潔に述べること(2,000 字程度、A4 版用紙、1枚程度で提出)。

また、専攻分野に応じて以下を添付すること。

- ・保存修復専攻: 過去 5 年間以内に行った保存修復業務に関するポートフォリオ(A4 版用紙、自由形式写真を含む、10 ページ以下)を提出。
- ・保存科学専攻: 過去 5 年間以内に刊行された報告書や論文の要旨(200~400 字程度)があれば提出。

③ 推薦書

大学院生は担当教員、美術館に在籍する者は館長又は学芸課長、所属のない者はこれまでの自分の関心と応募の理由をよく理解している者によって書かれた推薦書(書式は自由)を提出すること。

④ 在学証明書

在学証明書(写し可。)を提出すること。

なお、大学院生と同等程度の学力を有する者は、それを証明する書類(卒業証明書の写しなど)を提出すること。

- * 応募書類は返却しません。
- * 小論文は各受入分野の研修内容に基づき作成してください。

2 応募締切 2026 年 5 月 8 日(金) (必着)

3 応募書類の提出先

【宛先】 〒110-0007 東京都台東区上野公園 7-7

国立西洋美術館 総務課 総務担当

- * 封筒の表に「インターン応募」と朱書きし、必ず簡易書留郵便にて送付ください。

【問合せ先】 メール shomu@nmwa.go.jp

電話 03-3828-5142 (直通 平日 10:00~17:00)

- * お問い合わせは、原則として電子メールで連絡してください。

【7】選考方法とスケジュール

選考申込書、小論文、推薦書により第一次選考を行い、5 月中旬から下旬に面接により第二次選考を行います。

選考結果は 6 月中旬に本人へお知らせします。

[個人情報の取扱いについて]

提出いただいた個人情報は、本募集の選考のために利用し、それ以外の目的では一切使用しません。ただし、研修が決定された方の個人情報は、引続き受入れ後の管理のために利用します。

全ての個人情報は一定の保存期間経過後、当館が責任をもって廃棄いたします。

なお、氏名・期間・インターン内容・写真等が当館の発行物に掲載されることがあるため、あらかじめ了承の上、応募ください。